

2023年度

学生募集要項

博士課程前期2年の課程（4月入学）

経済経営学専攻

経済経営リサーチコース・高度グローバル人材コース

入試区分	一般選抜Ⅰ期、 東北大学経済学部生を対象とする試験	一般選抜Ⅱ期、 社会人特別選抜
事前審査等 受付期間	2022年5月20日（金） ～6月6日（月）16時必着	2022年9月20日（火） ～10月7日（金）16時必着
出願受付期間	2022年7月11日（月） ～7月26日（火）16時必着	2022年12月2日（金） ～12月16日（金）16時必着
英語外部試験 スコアの提出	2022年7月26日（火）16時必着	2022年12月16日（金）16時必着
受験票発送	2022年8月25日（木）	2023年2月2日（木）
入学試験	2022年8月30日（火）：一般選抜Ⅰ期 2022年8月31日（水）：東北大学経済 学部生を対象とする試験	2023年2月8日（水）：一般選抜Ⅱ期 2023年2月9日（木）：社会人特別選 抜
合格発表	2022年9月8日（木）	2023年3月3日（金）
入学手続期間	2023年3月6日（月）～13日（月）16時必着	
入学	2023年4月1日	

注1 一般選抜は、Ⅰ期募集（9月頃）とⅡ期募集（2月頃）の年2回行います。社会人特別選抜は、年1回Ⅱ期募集（2月頃）の時期に行います。東北大学経済学部生を対象とする試験は、年1回Ⅰ期募集（9月頃）の時期に行います。合格した場合の入学の時期は、どの入試区分も2023年4月になります。

注2 2022年10月入学を希望する場合は、募集要項が別にありますので、それに従ってください。

注3 高度グローバル人材コース外国人特別選抜の4月入学はありません。10月入学のみになります。

東北大学大学院経済学研究科

経済学研究科のアドミッション・ポリシー

東北大学大学院経済学研究科には二つの専攻があります。経済経営学専攻では、経済・経営への強い関心と、それについての基礎学力を有し、将来これらの分野の研究者として、あるいは高度な専門職業人として活躍することを希望する人を求めます。広い視野と豊かな学識を持ち、国際的水準の独創的な研究を遂行する能力を備え、社会と学問の発展に貢献できることを目指して育成を行います。会計専門職専攻（会計大学院）では、会計に関する基礎学力を有し、将来高度な分析能力を身につけ、国際的な場面で活躍する会計職業人となることを希望する人を求めます。会計分野の学識と実務的な知識を持ち、国際的視野とコミュニケーション能力を備え、高い職業倫理観をもって社会の発展に貢献できることを目指して育成を行います。また、実社会での経験を生かしながら、新たな問題意識をもって経済学や経営学を学びたい、会計職業人としての能力を向上させたい、という希望をもつ社会人を積極的に受け入れます。

（経済経営学専攻・博士課程前期2年の課程）

本課程には、経済経営リサーチコースと高度グローバル人材コース（Global Program in Economics and Management, GPEM）があります。各コースに対し以下の選抜区分がありますが、経済経営リサーチコースでは外国人については日本語能力を備えた学生を選抜し、GPEMではグローバルに活躍できる資質を備えた学生を選抜することは共通です。試験の実施方法は選抜区分により異なりますが、各実施方法で所定の基準に達するのが必要なことは共通です。

一般選抜

英語の能力と経済経営科目に関する専門知識を備えた学生を選抜します。試験の実施方法は筆答、口述、提出書類の審査です。専門知識を重視します。

社会人特別選抜

社会人を対象とし、職業能力と志望する専門科目に関する知識を備えた学生を選抜します。試験の実施方法は口述と提出書類の審査です。専門知識と研究適性を重視します。

東北大学経済学部生を対象とする試験

当学部を卒業見込で成績が優秀な学生を対象とし、大学院への進学目的が明確な学生を選抜します。試験の実施方法は口述と提出書類の審査です。専門知識と研究計画の適切性を重視します。

なお、入学前に大学学部水準の専門知識、課題探究力、国際的視野を身につけておくことを希望します。

1 専攻、コース、募集人員及び入試区分

専攻	コース	募集人員 (10月入学者を含む)	入試区分	対象者
経済経営学専攻	経済経営リサーチコース	34名	一般選抜	
			社会人特別選抜	出願時に通算して2年以上の社会経験 ^{注2} を有する者
			東北大学経済学部生を対象とする試験	本学経済学部を2022年9月または2023年3月に優秀な成績で卒業見込みの者
	高度グローバル人材コース	26名 ^{注1}	一般選抜	
			社会人特別選抜	出願時に通算して2年以上の社会経験 ^{注2} を有する者
			東北大学経済学部生を対象とする試験	本学経済学部を2022年9月または2023年3月に優秀な成績で卒業見込みの者

注1 上記募集人員には、パダボーン大学ダブルディグリー・プログラム特別選抜の定員（別途選考）を含みません。

注2 「社会経験」とは、在職の経験や継続的な社会的活動への参加経験を意味します。

2 出願資格等

次の（Ⅰ）のいずれかの基礎資格と（Ⅱ）の要件に該当する者として、基礎資格については、2023年3月31日までに見込みの者でも可とします。

（Ⅰ）基礎資格

- （1） 大学を卒業した者
- （2） 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- （3） 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- （4） 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- （5） 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- （6） 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- （7） 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- （8） 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- （9） 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本大学院において、その教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- （10） 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

（Ⅱ）要件

経済経営リサーチコースを志願する外国人の方（日本国籍を有しない方で、かつ、日本国の永住許可を得ていない方）は、日本語能力試験N1（JLPT Level N1）の認定を受けており、かつその総合得点が120点以上であること。ただし本学部生及び本学部研究生は不要です。高度グローバル人材コースを志願する者は、TOEFL iBT[®]テスト（Special Home Edition 及び Home Edition も可）の Test Date スコア 79 点以上（TOEIC[®]テストのスコア 773 点以上または IELTS（Academic Module）のスコア 6.5 以上でも可）であること。ただし東北大学経済学部生を対象とする試験に出願しようとする者は不要です。

注1 （9）又は（10）によって出願しようとする場合は、「**3 事前審査等**」により出願前に必ず事前審査申請等を行ってください。

注2 入試区分にかかわらず、外国人の方で入学を志願する者は、「**3 事前審査等**」により出願資格の有無を必ず確認してください。

注3 東北大学経済学部生を対象とする試験に出願する者は、「**3 事前審査等**」により、出願前に必ず事前審査申請等を行ってください。

注4 経済経営学専攻では、「大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの」に関する出願資格は適用しません。

3 事前審査等

次のいずれかに該当する者は、出願前に事前審査等が必要です。
必要書類を揃えて事前審査等受付期限までに経済学部・経済学研究科教務係へ提出してください。

(1) 対象者

外国人の方（日本国籍を有しない方で、かつ、日本国の永住許可を得ていない方）

注1 入試区分にかかわらず、外国人の方で入学を志願する者は、必ず提出してください。

注2 日本人で外国の大学等を卒業した（又は卒業見込みである）方も提出してください。

「2 出願資格（9）又は（10）」によって出願しようとする者

東北大学経済学部生を対象とする試験に出願しようとする者

【経済経営リサーチコース】

成績証明書等によって成績優秀と認められた場合、出願が認められます。

【高度グローバル人材コース】

以下のいずれかに該当すれば、出願が認められます。

- ① 成績証明書等によって成績優秀と認められた場合
- ② 高度グローバル人材コース学部・大学院一貫教育プログラムに所属しており、東北大学グローバルリーダー育成プログラム（TGLプログラム）のグローバルリーダー認定証を有する場合

いずれのコースについても、出願資格の認定の可否は、2022年7月中旬発送の文書で通知します。

注3 「東北大学経済学部生を対象とする試験」の出願が認められなかった場合でも、一般選抜Ⅰ期・Ⅱ期に出願することは可能です。

注4 グローバルリーダー認定証を2022年度前期に申請中又は申請予定の者もこの事前審査に申請することは可能です。

(2) 必要書類等

必要書類、具体的な説明は、経済学部・経済学研究科ウェブサイトをご覧ください。
経済学部・経済学研究科トップページ <https://www.econ.tohoku.ac.jp/>

(3) 事前審査等受付期間

イ) 一般選抜Ⅰ期、東北大学経済学部生を対象とする試験

2022年5月20日（金）～6月6日（月）16時必着

ロ) 一般選抜Ⅱ期、社会人特別選抜

2022年9月20日（火）～10月7日（金）16時必着

注5 受付期間内に到着したものに限り受け付けます。

注6 必要書類に不備がある場合には、受け付けません。

4 出願書類

志願者は、次の書類等を郵送又は持参により、所定の期間内に経済学部・経済学研究科教務係（〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1）に提出してください。

出願書類（所定様式）は、募集要項と同じウェブサイトに掲載されていますので、ダウンロードして印刷のうえご使用ください。

経済学部・経済学研究科トップページ <https://www.econ.tohoku.ac.jp/>

4-1. 経済経営リサーチコース

入試区分	No.	書類	摘要
各区分に共通の書類	1	入学願書、履歴書、受験票・写真票	所定様式。 所定欄に、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの写真（正面向き上半身無帽像、3枚）を貼ってください。
	2	研究計画書	4部。 A4判用紙に、2,000字程度で作成してください。初めに氏名を明記してください。 社会人特別選抜受験者の場合は、4,000字程度で作成し、所定様式の表紙をつけてください。
	3	成績証明書	出身大学又は最終卒業学校等が発行したもの。コピー不可。 ただし、本学経済学部出身者は不要です。
	4	卒業（見込）証明書	出身大学又は最終卒業学校等が発行したもの。コピー不可。 ただし、本学経済学部出身者は不要です。 大学改革支援・学位授与機構により学位を授与されて出願する者は、学士の学位授与（見込）証明書。
	5	検定料 30,000円 <u>30,000円を、(1)一般選抜Ⅰ期、東北大学経済学部試を対象とする試験は7月25日(月)までに、(2)一般選抜Ⅱ期、社会人特別選抜は12月15日(木)までに、指定金融機関に支払いの上、「入学検定料納付確認書」（本研究科所定用紙）を提出してください。</u>	検定料は、ATM（金融機関、コンビニエンスストア）やインターネットバンキング等をご利用の上、下記により納入してください。【納入期限厳守】 金額：30,000円 納入期限：(1)7月25日(月)、(2)12月15日(木) 銀行：三菱UFJ銀行 銀行コード：0005 支店：わかたけ支店 支店コード：809 預金種別：普通 口座番号：2259061 口座名義：国立大学法人東北大学 カナ：ダイトリクダガク ※ 振込依頼人名は、受験者本人のカナ氏名及び英字氏名を登録してください。 ※ 振込手数料については、受験者本人負担となります。 ただし、国費外国人留学生で留学期間の延長手続きを行う場合は納付不要です。 また、災害の被災者に対する入学検定料の免除については、経済学部・経済学研究科ウェブサイトを参照してください。 ※ 外国送金不可。 ※ 誤納付の場合は出願期間最終日までに申し出ること。
	6	受験票等発送用封筒	縦23.5cm×横12cmの定形封筒（長形3号）に郵便番号、住所及び氏名を明記し、 <u>664</u> 円分の切手を貼ってください。
社会人	7	在職証明書	2年以上の在職を証明するもの又はこれに代わるもの。 なお、所属組織がある場合には、所属組織の長又はこれに相当する者の推薦書（所定様式）があることが望ましい。
東北大学生対象	8	志願理由書	所定様式。 所定欄に、学部演習の指導教員に承認印をもらうこと。

該当者	9	住民票	本邦に在留する外国人の方（在留期間が90日を超える者）のみ提出してください。
-----	---	-----	--

4-2. 高度グローバル人材コース

入試区分	No.	書類	摘要
各区分に共通の書類	1	入学願書、履歴書、受験票・写真票	所定様式。 所定欄に、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの写真（正面向き上半身無帽像、3枚）を貼ってください。
	2	志願理由書	所定様式。 英語で作成してください。「東北大学経済学部生を対象とする試験」へ出願する者は、所定欄に学部演習の指導教員の署名と印をもらってください。それ以外の選抜区分の出願者は署名と印は不要です。
	3	プロジェクト計画書	4部。 英語で、A4判用紙にダブルスペースで1,500ワード程度で作成してください。初めに氏名を明記してください。 社会人特別選抜受験者の場合は、英語でダブルスペース3,000ワード程度で作成し、所定様式の表紙をつけてください。
	4	成績証明書	出身大学又は最終卒業学校等が発行したもの。コピー不可。ただし、本学経済学部出身者は不要です。
	5	卒業（見込）証明書	出身大学又は最終卒業学校等が発行したもの。コピー不可。ただし、本学経済学部出身者は不要です。 大学改革支援・学位授与機構により学位を授与されて出願する者は、学士の学位授与（見込）証明書。
	6	検定料 30,000円	検定料は、ATM（金融機関、コンビニエンスストア）やインターネットバンキング等をご利用の上、下記により納入してください。【納入期限厳守】 金額：30,000円 納入期限：（1）7月25日（月）、（2）12月15日（木） 銀行：三菱UFJ銀行 銀行コード：0005 支店：わかたけ支店 支店コード：809 預金種別：普通 口座番号：2259061 口座名義：国立大学法人東北大学 カナ：ダイトウキョウダイガク ※ 振込依頼人名は、受験者本人のカナ氏名及び英字氏名を登録してください。 ※ 振込手数料については、受験者本人負担となります。 ただし、国費外国人留学生で留学期間の延長手続きを行う場合は納付不要です。 また、災害の被災者に対する入学検定料の免除については、経済学部・経済学研究科ウェブサイトを参照してください。 ※ 外国送金不可。 ※ 誤納付の場合は出願期間最終日までに申し出ること。
	7	受験票等発送用封筒	縦23.5cm×横12cmの定形封筒（長形3号）に郵便番号、住所及び氏名を明記し、 664 円分の切手を貼ってください。
社会人	8	在職証明書	2年以上の在職を証明するもの又はこれに代わるもの。 なお、所属組織がある場合には、所属組織の長又はこれに相当する者の推薦書（所定様式）があることが望ましい。
該当者	9	住民票	本邦に在留する外国人の方（在留期間が90日を超える者）のみ提出してください。

	10	高度グローバル人材コース学部・大学院 一貫教育プログラム 参加資格認定書	本学経済学部出身者で、高度グローバル人材コース学部・大学院一貫教育プログラムに所属しており、大学院を1年で修了することを希望する者は提出してください。コピー可。
--	----	--	--

5 出願期間

- (1) 一般選抜Ⅰ期、東北大学経済学部試を対象とする試験
： 2022年 7月11日(月)～ 7月26日(火) 16時必着
- (2) 一般選抜Ⅱ期、社会人特別選抜
： 2022年12月 2日(金)～16日(金) 16時必着

注1 郵送による出願書類は、出願期限までに到着したものに限り受け付けます。

注2 郵送する場合は簡易書留等必ず配送記録の残るものとし、封筒の表に「博士課程前期2年の課程願書在中」と朱書きしてください。

注3 持参する場合の受付時間は、平日の8時30分～12時45分、13時45分～16時です(土日祝日は受け付けません)。

注4 出願書類に不備がある場合には、受け付けません。

注5 出願手続後は、出願取下げ、書類の変更、書類の返還及び検定料の払い戻しはできません。

6 受験票の発送

受験票は、以下の日程で発送予定です。

一般選抜Ⅰ期、東北大学経済学部試を対象とする試験：2022年8月25日(木)

一般選抜Ⅱ期、社会人特別選抜：2023年2月2日(木)

受験票が届かない場合には、経済学部・経済学研究科教務係(電話 022-795-6265)まで連絡してください。

7 選抜方法

7-1. 経済経営リサーチコース

- (1) 一般選抜は、学力試験（外国人の方については日本語能力の試験（口述）を含む）及び出身大学長又は学部長から提出される成績証明書等を総合して判定します。
- (2) 社会人特別選抜は、学力試験及び研究計画書等の審査を総合して判定します。
- (3) 東北大学経済学部生を対象とする試験は、学力試験及び成績証明書等の審査を総合して判定します。

入試区分	学力試験			備 考
	経済経営科目	英語	口述試験	
一般選抜	○	○	○ (外国人の方のみ)	本コースは日本語で教育を行うため、外国人の方については、口述試験で日本語能力を判定します。
社会人特別選抜			○	口述試験は、志望する専門科目と今後の研究計画等に関して行います。
東北大学経済学部生を対象とする試験			○	口述試験は、専門知識と今後の研究計画等に関して行います。

*学力試験について

経済経営科目 筆答により行います。「別紙1「経済経営科目」試験について」に掲げる科目より2科目を出願時に選択してください。選択した科目の変更はできません。

英 語 英語の試験は独自の試験を行わず、所定の外部試験のスコア提出により行います。詳しくは、「別紙2「英語」試験について」を参照してください。

備考

過去2年分の筆答試験問題の販売を東北大学生活協同組合に委託しております。詳しくは経済学部・経済学研究科ウェブサイトをご覧ください。

7-2. 高度グローバル人材コース

- (1) 一般選抜は、学力試験及び出身大学長又は学部長から提出される成績証明書等を総合して判定します。
- (2) 社会人特別選抜は、学力試験及びプロジェクト計画書等の審査を総合して判定します。
- (3) 東北大学経済学部生を対象とする試験は、学力試験及び成績証明書等の審査を総合して判定します。

入試区分	学力試験			備 考
	経済経営科目	英語	口述試験	
一般選抜	○	○	○	本コースは主に英語で教育を行うため、口述試験での使用言語は英語とします。
社会人特別選抜		○	○	口述試験は、志望する専門科目とプロジェクト計画等に関して行います。また、本コースは主に英語で教育を行うため、口述試験での使用言語は英語とします。
東北大学経済学部生を対象とする試験			○	口述試験は、専門知識と今後のプロジェクト計画等に関して行います。また、本コースは主に英語で教育を行うため、口述試験での使用言語は英語とします。

* 学力試験について

経済経営科目 筆答により行います。「別紙1「経済経営科目」試験について」に掲げる科目より2科目を出願時に選択してください。選択した科目の変更はできません。

英 語 英語の試験は独自の試験を行わず、所定の外部試験のスコア提出により行います。詳しくは、「別紙2「英語」試験について」を参照してください。なお、外国人の方は、事前審査において既にスコアを提出していますので再提出は不要です。

備考

過去2年分の筆答試験問題の販売を東北大学生活協同組合に委託しております。詳しくは経済学部・経済学研究科ウェブサイトをご覧ください。

8 学力試験日程等

8-1. 経済経営リサーチコース

(1) 学力試験日程

入試区分	試験期日	試験時間	試験科目	備考
一般選抜 Ⅰ期	2022年 8月30日(火)	10:00~12:00	経済経営科目	
		13:00~	口述試験	外国人の方のみ、筆答試験 終了後に行います。
東北大学 経済学部生 を対象とする 試験	2022年 8月31日(水)	9:00~	口述試験	
一般選抜 Ⅱ期	2023年 2月8日(水)	10:00~12:00	経済経営科目	
		13:00~	口述試験	外国人の方のみ、筆答試験 終了後に行います。
社会人 特別選抜	2023年 2月9日(木)	9:00~	口述試験	

注1 口述試験の実施時間については、後日通知します。

口述試験の受験者は、受験票を必ず持参のうえ、試験開始15分前までに、教務係窓口に来てください。

(2) 試験場

東北大学川内南キャンパス 経済学研究科

注2 受験者は、受験票を必ず持参のうえ、試験開始15分前までに、指定された試験場に来てください。

注3 試験を1科目でも受験しない場合は、失格となります。

8-2. 高度グローバル人材コース

(1) 学力試験日程

入試区分	試験期日	試験時間	試験科目	備考
一般選抜 Ⅰ期	2022年 8月30日(火)	10:00~12:00	経済経営科目	
		13:00~	口述試験	全ての受験者に、筆答試験終了後に行います。使用言語は英語とします。
東北大学 経済学部生 を対象とする 試験	2022年 8月31日(水)	9:00~	口述試験	使用言語は英語とします。
一般選抜 Ⅱ期	2023年 2月8日(水)	10:00~12:00	経済経営科目	
		13:00~	口述試験	全ての受験者に、筆答試験終了後に行います。使用言語は英語とします。
社会人 特別選抜	2023年 2月9日(木)	9:00~	口述試験	使用言語は英語とします。

注1 口述試験の実施時間については、後日通知します。

口述試験の受験者は、受験票を必ず持参のうえ、試験開始15分前までに、教務係窓口に来てください。

(2) 試験場

東北大学川内南キャンパス 経済学研究科

注2 受験者は、受験票を必ず持参のうえ、試験開始15分前までに、指定された試験場に来てください。

注3 試験を1科目でも受験しない場合は、失格となります。

9 合格者の発表及び入学手続について

(1) 合格発表

- イ) 一般選抜Ⅰ期、東北大学経済学部生を対象とする試験
： 2022年 9月 8日(木) 17時予定
- ロ) 一般選抜Ⅱ期、社会人特別選抜
： 2023年 3月 3日(金) 15時予定

合格発表は東北大学経済学部・経済学研究科ウェブサイト上で行います。合格者には文書で通知しますが、不合格者には通知しません。なお、電話、文書等による問い合わせには応じません。

(2) 入学手続

合格通知書を受け取った者は、その際送付する入学手続に関する指示に従い、**2023年3月6日(月)～13日(月)**において、必要な手続を行ってください。

ただし、持参する場合の受付時間は、平日の8時30分～12時45分、13時45分～16時で、土日祝日、3月10日(金)は受け付けません。

所定の期間内に入学手続を行わない場合は、入学しないものとして取り扱うので注意してください。

10 出願時の留意事項

(1) 後期3年の課程への進学について

経済経営リサーチコースに社会人特別選抜により入学した学生が、後期3年の課程へ進学するためには、一定の水準を満たす修士論文を提出し、進学試験に合格しなければなりません。また、高度グローバル人材コースに入学した学生が後期3年の課程へ進学するためには、一定の水準を満たすプロジェクト報告を行い、進学試験に合格しなければなりません。

(2) 社会人特別選抜出願時における予定指導教員の研究テーマ・授業内容の確認について

指導教員は、「別紙4 授業科目のテーマ及び担当教員一覧表」に基づき選択した専門科目の担当教員になります。

予定指導教員の研究テーマ・授業内容についてよく確認し、出願前に教員と連絡をとり、入学後指導教員となることの内諾を得た上で、出願してください。教員の連絡先については、経済学部・経済学研究科ウェブサイトをご覧ください。下記に問い合わせてください。

問合せ先 東北大学経済学部・経済学研究科教務係

電話 022 (795) 6265

e-mail eco-kyom@grp.tohoku.ac.jp

11 1年又は1年半での課程修了について

本課程においては、大学院設置基準第16条の規定に従い、優れた研究業績を上げた認められた場合、1年又は1年半で課程を修了して修士の学位を取得することが可能です。

12 大学院設置基準第14条による特例の適用

有職者で、大学院設置基準第14条による特例（有職者の所属先における勤務条件、通学に要する時間等を考慮し、授業時間は通常の授業時間帯及び通常の授業時間帯以外の特定の時間又は時期に設ける）による教育の実施を希望する者は、合格者発表後、速やかに予定指導教員に申し出てください。

13 在学期間について

標準修業年限は2年ですが、特別の事情がある場合は、入学手続時に標準修業年限の2倍までの年数で修了する長期履修制度の適用を研究科長に申請することができます。長期履修制度の適用を認められた場合、授業料は、標準修業年限で修了する場合の合計額を長期履修の年数に均等分割して支払うこととなります。

1.4 入学料及び授業料

- (1) 入学料 : 282,000 円 (予定額)
- (2) 授業料 (前期分) : 267,900 円 (参考 年間授業料 : 535,800 円) (いずれも予定額)
 - 注1 授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新しい授業料等が適用となります。
 - 注2 入学料及び授業料の免除、徴収猶予等に関しては、合格発表後に送付する入学手続に関する書類でお知らせします。

1.5 本研究科が独自に実施する大学院学生への奨学金

本研究科では、本学経済学部出身であり、かつ、本研究科博士課程後期3年の課程に進学する意思のある前期2年の課程の大学院学生に対し、奨学金を支給しています。研究科独自の奨学金である通称「須永基金奨学金」による支援事業です。詳しくは、経済学部・経済学研究科ウェブサイトをご覧ください。経済学部・経済学研究科教務係までお問い合わせください。

1.6 受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

受験上の配慮及び修学上の配慮を必要とする者は、次の事項を記載した申請書(様式は定めない)を提出してください。

なお、本研究科の入学試験においては、合格判定の際に不利に扱うことはありません。

- (1) 相談の時期
 - 一般選抜Ⅰ期、東北大学経済学部生を対象とする試験:原則として2022年 6月 6日(月)まで。
 - 一般選抜Ⅱ期、社会人特別選抜:原則として2022年10月 7日(金)まで。
- (2) 申請書に記載する内容
 - ① 志願者の氏名、住所(連絡先電話番号も記載)
 - ② 出身大学等
 - ③ 受験上の配慮を希望する事項
 - ④ 修学上の配慮を希望する事項
 - ⑤ これまで認められたことのある配慮の内容
 - ⑥ 日常生活の状況
 - ⑦ その他参考となる事項(現に治療中の者は、医師の診断書を添付)

1.7 備考

出願書類の作成、及び社会人特別選抜における予定指導教員の受入内諾を得るための連絡は必ず志願者本人が行うこと。これらの書類及び連絡の過程において虚偽の記載や申告をしたことや、書類作成を志願者本人が行わなかったことが判明した場合、入学許可を取り消されることがあります。

1.8 個人情報の取り扱い

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき厳密に取り扱い、個人情報保護に万全を期しています。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学手続、入学前教育、追跡調査、入学後の学生支援関係(奨学、授業料免除及び健康管理等)及び修学指導等の教育目的並びに授業料徴収等の関係に利用します。
- (3) 教務関係の業務については、本学から業務委託を受けた業者(以下「受託業者」という)が行うことがあります。業務委託に当たっては、その必要性に応じて「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき、個人情報の一部又は全部を受託業者に提供します。

2022年 4月

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1

東北大学大学院経済学研究科

電話 022 (795) 6265

(別紙1) 「経済経営科目」試験について

次に掲げる科目より2科目を出願時に選択してください。選択した科目の変更はできません。

ミクロ経済分析
政治経済学原理
数理統計
経済史
経営組織
マクロ経済分析
経済学史
日本経済史
経済経営数学
経営政策
経営史

(別紙2) 「英語」試験について

英語の試験は独自の試験を行わず、所定の外部試験のスコア提出により行います。

事前に下記いずれかの試験を受け、有効期間内に受験した試験のスコアシートを郵送または持参により、所定の期限までに経済学部・経済学研究科教務係に提出してください。

- ・ **TOEIC テスト** (TOEIC IP テストは不可。日本で受験したもののみ有効です。日本以外で受験したものは認められません) スコアシートとして認められるのは、顔写真付き公式認定証を提出した場合に限られます。
- ・ **TOEFL iBT テスト** (TOEFL iBT Special Home Edition 及び Home Edition は可。TOEFL ITP テストは不可) Institutional Score Report (公式スコア票) と Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票) の両方の提出が必要です。
- ・ **IELTS** (Academic Module は可。General Training Module は不可) スコアシートとして認められるのは、Test Report Form (公式の成績証明書) の原本を提出した場合に限られます。

※ その他の試験は使用することができません。

※ TOEFL iBT テストにおいては、Test Date スコアのみを利用します (MyBest スコアは利用しません)。

提出されたスコアは相互に換算し、英語の得点を算出します。複数のスコアが提出された場合には、換算の結果、得点の最も高いものを採用します。

なお、過去に提出されたスコアシートは利用できませんので、改めて提出してください。

また、各試験は、実施日及び実施会場が限られていますので、試験の結果が送付されるまでの日数を考慮のうえ、各試験の開催日時等を早めに確認し、受験してください。TOEFL のスコアシートの送付には日数がかかる場合もありますので、余裕をもって受験することをお勧めします。

入試区分	有効なスコア	提出期限	提出方法
一般選抜 I 期	2020年5月1日以降に受験したもの	2022年7月26日 (火)	TOEIC® テスト 顔写真付き公式認定証 (コピー不可) を提出してください。
一般選抜 II 期、高度グローバル人材コース 社会人特別選抜 4 月入学	2020年9月1日以降に受験したもの	2022年12月16日 (金)	各種 TOEFL® テスト 次の①と②の両方により提出してください。 ①Institutional Score Report (公式スコア票) が ETS から本研究科へ送付されるよう各自手配してください。 ※ 送付のための DI コード (Institution Code Number) は 0232 (Tohoku University Graduate School of Economics and Management) です。 ②Test Taker Score Report (受験者用控えスコア票。①と同じ受験日のもの) を提出してください。 コピー及び PDF 形式のスコア票の印刷も可です。
			IELTS Test Report Form (公式の成績証明書。コピー不可) を提出してください。

TOEFL, TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーションアル テスティング サービス (ETS) の登録商標です。

(別紙3) 2023年度
 東北大学大学院経済学研究科博士課程前期2年の課程
 専門科目及び担当教員

専 門 科 目	担 当 教 員
政 治 経 済 学 I	教 授 守 健 二
理 論 経 済 学 I	*教 授 三 宅 充 展
理 論 経 済 学 II	教 授 北 川 章 臣
経 済 学 史	准教授 古 谷 豊
西 欧 経 済 史	教 授 川 名 洋
社 会 思 想 史	教 授 小 田 中 直 樹
経 済 計 画 論	教 授 大 瀬 戸 真 次
応 用 マ ク ロ 経 済 学	准教授 鈴 木 通 雄
経 営 学 原 理	准教授 高 浦 康 有
マ ー ケ テ ィ ン グ 管 理 論	准教授 一 小 路 武 安
国 際 金 融 論	*教 授 秋 田 次 郎
環 境 経 済 学	教 授 日 引 聡
産 業 組 織 論	教 授 泉 田 成 美
経 済 政 策	教 授 黒 瀬 一 弘
経 済 統 計 学	教 授 松 田 安 昌
計 量 経 済 学	准教授 千 木 良 弘 朗
経 営 統 計 学	准教授 石 垣 司
意 思 決 定 論	教 授 鈴 木 賢 一

専 門 科 目	担 当 教 員
経 営 組 織 論	教 授 藤 本 雅 彦
経 営 史	准教授 結 城 武 延
証 券 投 資 論	教 授 室 井 芳 史
経 営 戦 略	准教授 山 崎 喜代宏
非 営 利 組 織 論	教 授 西 出 優 子
福 祉 経 済	教 授 若 林 緑
加 齢 経 済	教 授 吉 田 浩
医 療 経 済	准教授 湯 田 道 生
財 政	教 授 佐々木 伯 朗
地 域 企 業 論	教 授 福 嶋 路
地 域 計 画	教 授 増 田 聡
サ ー ビ ス 経 営 論	准教授 酒 井 健
ア ジ ア 経 済 論	教 授 日 置 史 郎
産 業 発 展 論	教 授 川 端 望
国 際 経 済	教 授 永 易 淳
グ ロー バ ル 経 営 史	准教授 菅 原 歩
国 際 経 営	准教授 金 熙 珍

(2022年4月1日現在)

注1 政治経済学Ⅰはマルクス経済学の原論であり、理論経済学Ⅰ・Ⅱは近代経済学の原論である。

注2 *の教員は、2023年度末までに退職予定の教員である。

(別紙4) 2023年度 東北大学大学院経済学研究科
 博士課程前期2年の課程授業科目のテーマ及び担当教員一覧表
 (社会人特別選抜)

経済経営学専攻

専門科目	主なテーマ	担当教員	要望事項
政治経済学Ⅰ	1)生産期間と固定資本の多部門分析 2)数理マルクス経済学と線形経済学	守 教授	外国語(英または独)と線形代数の基礎レベル
理論経済学Ⅰ	静学的な価格理論を中心としたマイクロ経済学	*三宅 教授	英文のテキストを使用するので英文読解力必要。 数学では、微分法、特に偏微分についての基礎知識が必要である。
理論経済学Ⅱ	大学院レベルのマクロ経済学の基礎	北川 教授	①学部レベルのマイクロ・マクロ経済学を十分理解していること。 ②英語文献を読める程度の英語力。 ③数学の基礎知識(特に微分法および微分・差分方程式)
経済学史	1)経済学の古代的形態 2)経済学の中世的形態 3)近代におけるいわゆる経済学の成立 4)その後の展開	古谷 准教授	英文読解力と、世界史の基礎。
西欧経済史	西欧近代を対象とする 1)自治都市発達史 2)比較経済発展論 3)地域史・国家形成史	川名 教授	歴史への関心と英文読解力を必要とします。
社会思想史	1)日本における歴史学の展開 2)社会科学志向型歴史学の理論と方法論	小田中 教授	基本的には邦語文献を使用しますが、内容のサーベイ等のリサーチを課しますので、一定の負担があることをご承知おきください。また、学期末には、ターム・ペーパーの提出を求める予定です。
経済計画論	1)社会選択理論 2)メカニズム・デザイン	大瀬戸 教授	マイクロ経済学と数学の基礎知識を前提とする。
応用マクロ経済学	家計、企業の多様性を重視する定量的マクロ経済分析	鈴木(通)准教授	①学部レベルのマイクロ・マクロ・計量経済学の理解。 ②英語文献を読める程度の英語力。
経営学原理	経営学の方法論、批判的経営研究	高浦 准教授	主として日本語の文献による。経営学の基礎知識があることが望ましい。
マーケティング管理論	1)消費者行動 2)組織変革	一小路 准教授	①英語論文の読解力 ②日本語による議論力 ③経営学の基礎知識
国際金融論	1)大学院レベルのマクロ経済学の基礎的諸事項 2)上の基礎に基づく開放体系マクロ経済学 3)その他関連する諸事項	*秋田 教授	文献は殆ど英文ですので、十分な読解能力が必要です。また、解析学、線形代数の基礎的なworking knowledgeを要求します。
環境経済学	環境経済学の基礎的な理論を学び、環境政策の有効性を評価する	日引 教授	①学部レベルのマイクロ経済学の基礎的な知識を有すること。②英語文献を読める程度の英語力。③数学の基礎知識(特に微分など)を有すること

専門科目	主なテーマ	担当教員	要望事項
産業組織論	市場構造、企業組織、法や規制が企業行動に与える影響について、ミクロ経済学・計量経済学の手法を使って分析する。	泉田 教授	ミクロ経済学及び計量経済学の基礎的な知識を修得していること。または入学後修得する意志があること。
経済政策	多部門モデルを用いて経済を分析する	黒瀬 教授	・英語文献を読みこなす力 ・微積分・線形代数に関する基本的知識があったほうが望ましい。
経済統計学	時系列、空間系列、時空間系列の分析手法の開発と社会科学分析への応用	松田(安)教授	微分積分、線形代数、確率統計の基礎的な知識
計量経済学	標準的な計量経済学の理論を学ぶ	千木良 准教授	行列演算と確率統計の基礎知識。 英語文献を読む能力。
経営統計学	1)経営・ビジネスにおける統計学応用 2)ビジネス・医療の大規模データ分析 3)サービスの科学・工学的アプローチ研究	石垣 准教授	線形代数、微積分、数理統計の基礎的な知識。 基礎的なプログラミングのスキル。
意思決定論	1)確定的な条件のもとでの条件付き最適化 2)不確実性のもとでの条件付き最適化	鈴木(賢)教授	線形代数と微積分の基礎的な知識
経営組織論	企業経営における組織と人材のマネジメント	藤本 教授	組織と人材のマネジメントは、心理学や社会学などの学際的な知識が要求されるだけでなく、実践的な課題解決に関係する実証研究が求められる。
経営史	日本を対象とする 1)株式会社制度の生成と発展 2)企業金融と企業統治の変遷 3)資本市場の発展過程	結城 准教授	学部レベルのミクロ経済学と計量経済学の知識を修得している／修得する意志がある。
証券投資論	1)数理ファイナンス 2)保険数学	室井 教授	数理ファイナンスに必要な高度な数学の知識。 『経済経営数学』『数理統計』を受験すること。
経営戦略	1)競争優位の資源能力アプローチ 2)日本製造企業の経営戦略 3)製品開発マネジメント 4)ケース研究	山崎 准教授	学部レベルの経営学、特に経営戦略論の知識を有することが望ましい。
非営利組織論	1)非営利組織のマネジメント 2)ダイバーシティとインクルージョン 3)ソーシャル・キャピタル論	西出 教授	日本語・英語の文献読解力 社会的課題解決への関心
福祉経済	1)消費・貯蓄行動に関する実証分析 2)福祉政策と家計行動 3)家族の経済学	若林 教授	英語で文献が読めることが必要です。 また実証分析ではパソコンを使用しますのでパソコンが苦手でないことが前提です。 ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学の基礎的な知識が必要です。
加齢経済	1)日本の少子・高齢化問題の解明 2)男女共同参画社会の経済分析 3)医療・福祉分野の実証分析 4)国債・税制問題と世代会計 5)観光経済、サービス経済の生産性	吉田 教授	①高度専門職業人として、社会や組織で必要とされる人物を養成します。 ②このための具体的な自分の準備状況を面接で聞きたいと思います。 ③出願前の質問も遠慮なくしてください。

専門科目	主なテーマ	担当教員	要望事項
医療経済	1) 医療経済学・社会保障論 2) 因果推論に基づく応用マイクロ計量経済分析 3) 医療・介護・年金制度等の社会保障制度の定量的な政策評価分析	湯田 准教授	学部レベルのマイクロ経済学と計量経済学の知識ならびに英語文献読解能力。
財政	1) 組織・制度の経済理論 2) 福祉国家財政論 3) 政府間財政関係論	佐々木 教授	英文読解力及び学部の専門課程レベルの経済学・財政学の知識。
地域企業論	1) 特定地域内における企業活動の分析 2) 企業活動を通じた地域活性化 3) 産・官・学との連携	福嶋 教授	英語の文献もとりあげたいので、ある程度の英語力を有していること。
地域計画	1) 計画思想の展開とその実践 2) 都市・地域計画プロセス論 3) 空間分析による地域政策評価 4) 防災まちづくりと土地利用計画	増田 教授	物的計画(フィジカル・プランニング)の基礎的知識を確認しておいてください。例えば、都市計画教育研究会編『都市計画教科書(彰国社)』など。
サービス経営論	1) サービス関連産業・企業の事例研究 2) サービス産業の歴史的变化 3) 制度、慣行、技術のイノベーション	酒井 准教授	英語と日本語の読解力。学部概論レベルの経営学の知識。社会的な問題、理論、方法への関心。
アジア経済論	中国を主とするアジア諸国・地域の経済発展、工業化、産業の高度化と国際化	日置 教授	英語と日本語の文献が読めること。中国語については読めることが望ましい。
産業発展論	1) 現代産業の理論と事例研究 2) 産業における成熟とキャッチ・アップのダイナミズム	川端 教授	マルクス経済学、近代経済学、経営学のうち二つ以上について、学部の概論レベルの知識を持っていること。日本語、英語の文献を読み、日本語で議論をすることが可能な語学能力を持っていること。
国際経済	1) 為替レートの変動要因 2) リスクの経済的解釈 3) 通貨・金融危機 4) 経済・金融統合	永易 教授	学部レベルの経済学、数学、統計学の知識および英語力。
グローバル経営史	各国多国籍企業の経営史	菅原 准教授	英語の読解力、学部の基礎レベルの経済学と経営学の知識
国際経営	1) グローバル製品開発のマネジメント 2) 日本・韓国企業の新興国市場戦略 3) ものづくりの国際経営	金 准教授	英語と日本語の読解力が必要です。

(2022年4月1日現在)

*の教員は、2023年度末までに退職予定の教員である。